

授業科目 卒業研究 I

【担当教員名】 東江 由起夫、須田 裕紀、 義肢装具自立支援学科教員全員		対象学年	4	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 義肢装具ならびに福祉用具にかかわる研究を行う。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. これまでに学習した知識を生かした研究ができる。 2. 科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できる。 3. 社会に貢献できる研究が遂行できる。 4. 自主的に研究ができる。 5. 仲間と助け合って研究ができる。 6. 結果をわかりやすくプレゼンテーションできる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	研究計画				全教員（ゼミ単位）
2	研究計画				全教員（ゼミ単位）
3	文献検索				全教員
4	文献検索				全教員（ゼミ単位）
5	文献検索				全教員（ゼミ単位）
6	実験計画				全教員（ゼミ単位）
7	第1次中間発表会				全教員
8	第1次中間発表会				全教員
9	予備実験				全教員（ゼミ単位）
10	分析				全教員（ゼミ単位）
11	分析				全教員（ゼミ単位）
12	分析				全教員（ゼミ単位）
13	中間報告書				全教員（ゼミ単位）
14	第2次中間発表会				全教員
15	第2次中間発表会				全教員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 中間発表を評価する。(計画が立案できる知識を身につけているか) 中間発表を評価する。(社会に役立つ研究を進めているか。自主的に進めているか。仲間と助け合って進めているか。) 中間発表を評価する。(科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できているか。わかりやすいプレゼンか。) 論文の質を評価する。(社会に貢献できる論文になっているか。) ただし、原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。				【履修上の留意点】 研究テーマは3年次に決まっていることが望ましい。 卒業研究計画の単位修得者でなければ履修することはできない。	